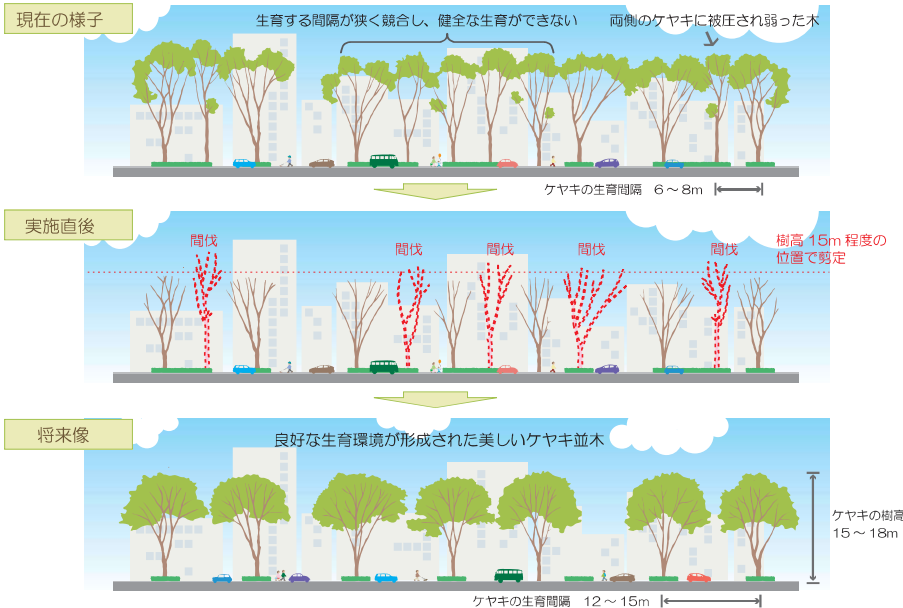


## 中杉通りケヤキ並木の保護管理の考え方

- ケヤキの生育間隔が狭く、樹木同士が競り合い、弱った木が見られます。ケヤキを健全に育てていくため、間伐により、1本1本の生育する間隔を広げます。
- ケヤキの多くは樹形のバランスが悪い状態です。樹形を整え良好な生育環境をつくり、美しい並木にしていくため、剪定により、樹高を15～18m程度に保っていきます。
- 定期的に、ケヤキの生育状況を調査し、必要に応じて保護管理の内容を見直します。



## ケヤキの発生材利用について

今回の保護管理の実施で伐採したケヤキの利用方法について、皆様のアイデアを募集します。

【発生材の利用例】

あなたのおきのアイデア、お待ちしております！

下記の連絡先までご連絡下さい。



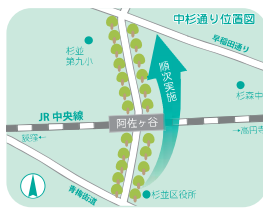
コースター

ハンチ

## 今後の進め方

ケヤキの生育状況の確認、管理内容の検証、必要に応じた見直しを行っていきます。

以降、中杉通りケヤキ並木の保護管理は、青梅街道側から早稲田通り側にかけて、順次進めて行く予定です。



本取り組みに関するご意見、ご要望は、右記の連絡先まで



発行者 中杉通りケヤキ並木連絡会  
連絡先 東京都建設局第三建設事務所 補修課街路樹係  
TEL 03-3387-5384 FAX 03-3387-9180

※転載・転用を禁じます。  
表紙写真：平成23年度のモデル実施区間

2012.12 発行



# “ケヤキのトンネル”を50年後も守り育てるために

東京都は、『中杉通りのケヤキ並木』の緑のトンネルを、これからも守り育てるために、ケヤキ並木の保護管理に取り組んでいます。

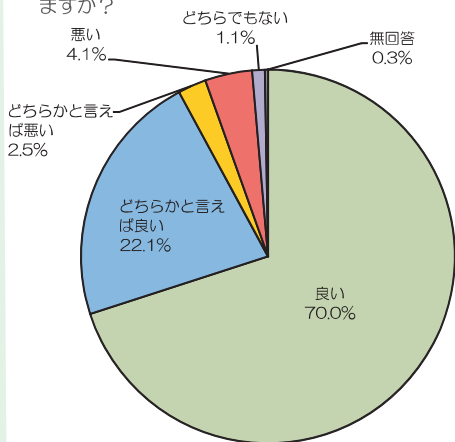
## 中杉通りケヤキ並木保護管理の取組

- 将来にわたり安全かつ健全なケヤキ並木を存続させるため、マイタウン阿佐谷協議会、杉並区、東京都の三者による「中杉通りケヤキ並木連絡会」を設置し、平成22年4月から「ケヤキ並木の保護管理」について検討しています。
- この検討に基づき、平成23年度は、保護管理のモデル実施を行いました。
- このたび、モデル実施を踏まえ、保護管理作業の本格実施に取り組みます。

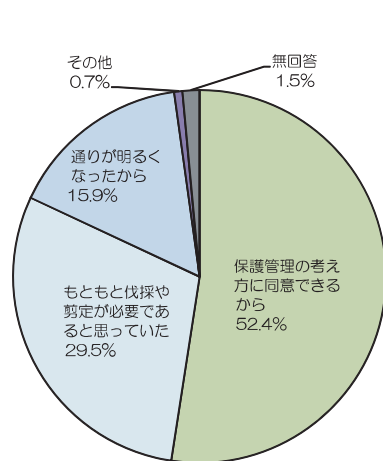
## モデル実施に関するアンケートの結果

- 中杉通り沿線の町会、商店街などを対象に実施。
- 保護管理（モデル実施）に対して、9割以上が賛同
- その理由として、「保護管理の考え方に同意できるから」が大半を占めた

Q1 保護管理（モデル実施）について、どう思われますか？



Q2 保護管理（モデル実施）に賛同された理由は？



## 平成24年度の保護管理の範囲と内容

### ＜ケヤキの管理＞

- 十分な間隔を確保するため、生育の悪いケヤキを伐採します
- 本来の美しい樹形に戻すため、樹高15m程度の位置で剪定します
- 必要に応じて、新しいケヤキを植栽します

### ＜ケヤキ植栽地の改善＞

- 根の状況を確認し、必要に応じ、植栽帯を拡張するとともに、根上りによる歩道の凹凸を改善します
- 低木は、生育の悪いものについて植え替えます

### ＜実施範囲と期間＞

- JR阿佐ヶ谷駅南口～青梅街道の約600m区間
- 平成25年1～3月頃を予定

